

世界遺産に推薦

富岡製糸場と絹産業遺産群



世界文化遺産登録を目指し、ユネスコへの推薦が正式に決定した富岡製糸場＝ヘリから6月撮影

政府が決定

14年の登録目指す



文化庁や環境省など7省庁で構成する世界

ユネスコの諮問機関、国際記念物遺跡会議（イコモス）が来年度に同遺産群を現地調査し、

全国から応援もらえるよう

遺産条約関係省庁連絡会議が23日、外務省で開かれ、2014年の世界文化遺産登録を目指し、本

14年夏のユネスコ世界遺産委員会で世界遺産登録の可否が審議される。

大沢正明知事の話 世界に向けた新たな一歩だ。7月に推薦が内定し、さらに高まってきた県民

県の「富岡製糸場と絹産業遺産群」を国連教育科学文化機関（ユネスコ）へ推薦することを政府として正式決定した。

同遺産群は、明治政府がフランスから近代製糸技術を導入して1872（明治5）年に設立した富岡製糸場（富岡市）を中心に、製糸場と連携して繭の生産に貢献した田

の期待と励ましの声を大変心強く思っている。今後は全国の方々にも応援してもらえよう努めたい。

先月の文化審議会などを経て文化庁が推薦を内定していた。今後は9月末までに暫定推薦書をユネスコに提出。形式審査の後、内容を仕上げて来年1月をめどに正式な推薦書を提出する。

島弥平旧宅（伊勢崎市）、高山社跡（藤岡市）、荒船風穴（下仁田町）で構成。高品質な生糸の大量生産を実現し、絹の大衆化をもたらした。

岡野光利富岡市長の話 富岡製糸場と絹産業遺産群の推薦を決定いただき、関係機関に感謝申し上げます。世界遺産を持つにふさわしいまちづくりを進めていく責任を感じている。



発行所(〒371-8666) 前橋市古市町1-50-21 上毛新聞社 電話 市外局番(027) (総合)254-9911 (編集)254-9933 (広告)254-9944 (販売)254-3131 (事業)254-9955 ©上毛新聞社 2012年

号外

- ②③面：貴重な遺産多い「絹の国」
- ④面：各地から喜びと期待の声